

# くつろぎタイム

vol. 229 2025.4

編集・発行：八頭町立図書館

郡家図書館 八頭町宮谷 256-4

船岡図書館 // 船岡 539-1

八東図書館 // 北山 48-1

## Diary 日記



4月。新生活の始まりの季節です。新鮮な気持ちで手帳を新しくしたり、日記を書きはじめたりという人もあるでしょう。今回は日記にまつわる本を紹介します。(山本)

### 『面白すぎて誰かに話したくなる 紫式部日記』 岡本梨奈／著 リベラル社

予備校講師の著者が紫式部やその時代をわかりやすく解説し、日記から謎多き紫式部の素顔を探る。随所で昨年大河ドラマ「光る君へ」のシーンも思い出される。



### 『無人島のふたり』

120日以上生きなくちゃ日記』

山本文緒／著 新潮社

「明日また書けましたら、明日。」

痔臓がんと診断されて、夫と二人で無人島に流されてしまったかのような日々を、最期まで書き続けた直木賞作家の遺した言葉。

その言葉を受け取りながら、自分なら残りの時間をどう生きるのだろうと静かに思う。



### 『アンネの日記 増補新訂版』

アンネ・フランク／著

深町真理子／訳 文藝春秋

思春期の13歳からの2年間、限られた空間の隠れ家で、悩み考え夢を綴った日記は、ドイツの秘密警察に連行される3日前の日付で終わっている。

今年は日本も戦後80年。  
今一度、平和について考えたい。



### 『一年一組せんせいあのね こどものつぶやきセレクション』

鹿島和夫／選

ヨシタケシンスケ／絵 理論社

鹿島和夫が担任した学級の小学1年生が日記ノート（あのね帳）に書いた詩54篇。

ほのぼのするもの、哲学的なもの、泣けるもの…。

こどもの目で見たと感じた！日常の風景がたまらなく愛おしい。



### 『さみしい夜にはペンを持って』

古賀史健／著

ならの／絵 ポプラ社

ベストセラー『嫌われる勇気』の著者が中学生に向けて書いた本。

書く行為が自分を見つめ直し救いになることを、親しみやすいキャラクターを使って物語として描く。

さあ、ノートを開きましょう！



あなたは今日、  
どんな1日を過ごしましたか？

